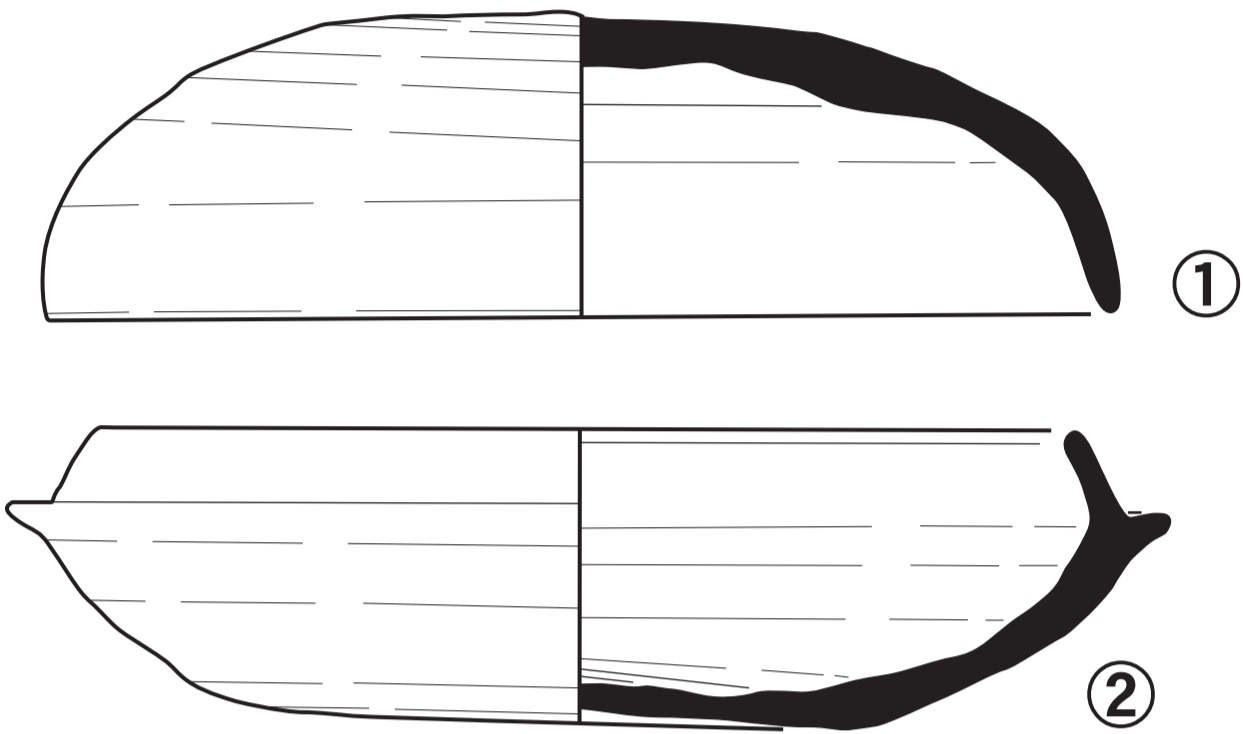
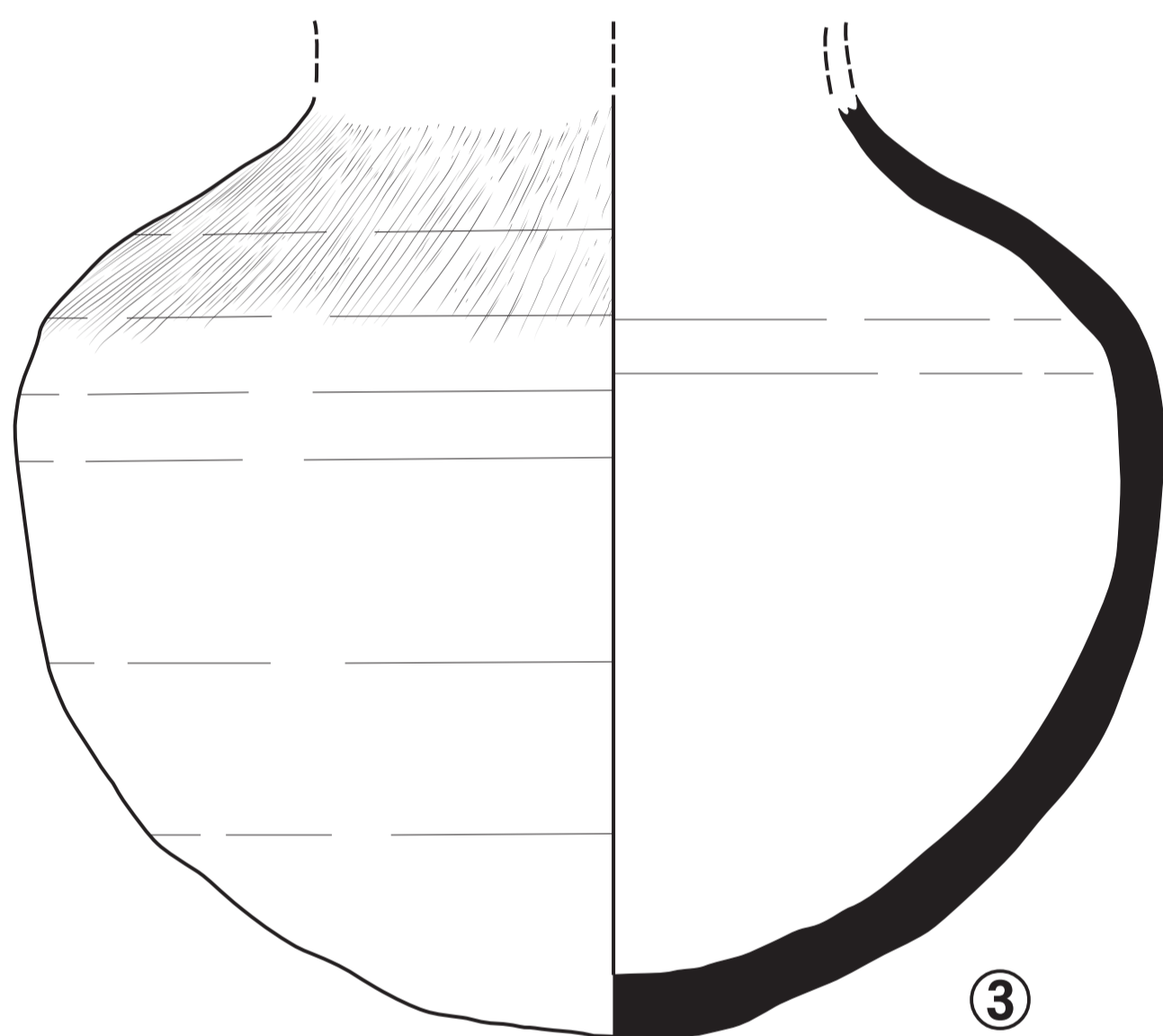


2つの学校の郷土室

須恵器 蓋坏・須恵器 壺



0 2cm 10



遺物実測図



遺物写真

資料の概要

- 資料名：①②須恵器 蓋坏 ③須恵器 壺
- 所属時期：①②古墳時代後期 ③古墳時代中～後期
- 出土地：①②③不明
- 出土年月日：不明

この3点の須恵器は、いずれも出土地、出土年月日が不明です。ただし、摩訶不思議な情報が残されています。

①②はセット関係にあると見られる須恵器蓋坏ですが、身の底面に以下の情報が記されたシールが貼られています。

山口縣女子師範学校 所属 第一郷土室 □□ 第七二號

一方で、③の須恵器壺の体部外面には、以下の情報が記されたシールが貼られています。

山口縣立室積高等女学校 所属 第一郷土室 □號 第七三號

山口縣女子師範学校は、本学教育学部の前身校の一つ。現在の附属光小中学校です。山口縣立室積高等女学校は、昭和11年(1936)3月から昭和23年(1948)3月まで用いられた校名で、現在の山口縣立光高等学校の前身校。両者は全く異なる学校なのです。ところが、両校は同じような管理シールを用いており、なぜか資料番号も連番のようです。そして現在は仲良く山口大学に収蔵されています。両校の関係者、卒業生のみなさん。ぜひ情報を！